



東海ブロードバンドサービス株式会社

東海ブロードバンドサービス株式会社は、光ファイバーや無線アクセスといった情報通信インフラを基盤とした地域密着型インターネットサービスを提供します。「誰もが」「いつでも」「どこでも」利用できる通信回線を提供することで、地域に密着したパートナー企業として情報格差を解消し、明るい未来へ繋がる豊かな地域社会の発展・振興に貢献いたします。私達「東海ブロードバンドサービス株式会社」は人と未来をつなぐICTソリューションを目指します。

取材協力：技術グループリーダー 高橋 直樹 様
URL：http://www.tbbs.co.jp/
業種：電気通信業

管理画面を直感的に操作できるので、マニュアルを見なくても簡単に設定できました。

導入の背景

なぜ「QNAP製NAS」の導入が必要だったのですか？

- 信頼性の高いファイルサーバーを探していた

もともと NAS はファイルサーバーとして他社製の法人向けの製品を使用していました。その NAS に外付け HDD を取り付けてデータのバックアップを取っていましたので、別途 NAS を必要としていたわけではありません。ただファイルサーバーには、お客様情報や工事の情報も含め、全てのデータを保存していましたので、もう少し信頼性の高いものがないか探していました。

「QNAP製 NAS」を選んだ決め手は何ですか？

- 直感的で、機能も豊富で出来る事が多いと感じていた

私どもはお客様にサービスを提供する立場ですので、ファイルサーバー用途であれば Windowsサーバーではなく、NASの方がお手軽で提案しやすいです。数あるNAS製品の中で、QNAP製品が優れているという事は、個人的には以前から知っていました。ここに移転する前は千葉に住んでいて、よく秋葉原に行って店頭でQNAP製品のデモを見たりしていま



た。管理画面は直感的で分かりやすく、単にファイルサーバーとしてだけではなく機能も豊富で、出来る事がたくさんあると感じていました。例えば WEBサーバー機能もあり WordPressも簡単にインストールできます。ですからNASを導入するならQNAP製品と考えていました。

導入の概要

「QNAP 製 NAS」の利用用途についてお聞かせ下さい。

- ファイルサーバー・お客様サポート用の仮想環境として

ファイルサーバーとして、データの保存をメインに利用しています。お客様情報や工事情報、見積書など全てのデータを保存しています。それ以外に、実際に使ってみて便利だと思ったのは仮想化の機能です。QNAPのNASで仮想マシンを構築し、お客様へのサポート環境としても利用しています。私どもは「やませみネット」というインターネットサービスも提供しており、お客様から様々なお問い合わせをいただきますが、お客様のOS環境は様々でそれを全て自分たちのPCで構築するわけにはいきません。例えばWindows OSだけでも7、8、10とありますし、その中のIE(Internet Explorer)の種類にしても8から11まで様々です。それが、QNAP1台で仮想マシンを組んで、そこにリモートアクセスして、お客様サポートができるよう

になりました。当然全てのお客様環境を作るのは無理ですが、今作っている4パターンでほぼ全てのお客様に対応できる体制を作ることができました。

クライアント端末のバックアップとして、QNAP NetBak Replicator ※1 を利用しています。これですと自分自身で操作せずに自動でバックアップが取れますので非常に便利です。今は私の PC でのみ利用していますが、今後は全ての従業員の PC にインストールして利用する予定です。データは全てQNAPのファイルサーバーに保存します。

※1 QNAP NetBak Replicator とは、QNAP Turbo NAS ユニットに付属するライセンス費用のからないバックアップソフトです。ユーザーは Windows PC からディスクドライブ全体、文書、写真、動画、電子メールなどのファイルをネットワークにある Turbo NAS にバックアップできます。操作は非常にシンプルで、リアルタイム同期、定期バックアップ、自動バックアップを設定しておけば、データのバックアップはほんの数回のクリックで完了します。

優れていると思った点は何ですか？

- 機能が豊富、管理画面が直感的に操作出来る

機能が非常にたくさんあるという点と、管理画面を直感的に操作できるという点です。ファイルサーバーの機能と仮想化の機能をメインに使っていますが、マニュアルを見なくても構築することができています。専門知識がなくても、GUIに従って操作していけば簡単に設定できてしまいます。

導入後の効果

導入してどんな効果がありましたか？

- バックアップの自動化で楽に

データのバックアップが非常に楽になりました。クライアントPCに保存してあるデータをQNAPのファイルサーバーに保存していますが、今までは手作業でサーバーに一時的に保存していましたが、今では、朝出勤して、自分のPCの電源を入れるとPC内のデータがQNAPのファイルサーバーに自動でバックアップされるようになっています。



自動化されていますので、バックアップし忘れるということもありません。万が一社員のPCが壊れてしまったという場合でも、安心してデータを復元できます。

- 仮想化で、お客様へのサポート対応がやりやすくなる

もう一つは仮想化によって、お客様へのサポート対応がやりやすくなったという点です。以前は、全てのOS環境を取りそろえることができていなかったため、簡単な問合せでも、OSによって設定方法が異なりますので、電話だけでは苦労することがありました。たとえばメールの設定などになると、実際の

画面を見ながら説明しないと難しいです。

しかもお客様の中にはかなり高齢の方もいらっしゃいます。そういう場合は、直接自宅を訪問してサポートすることになりますが、電話で対応できればお互いの負担を軽減することができます。

またアプリのインストールやメールの設定ですと、一回、設定してしまうと、その情報が残って、次の動きが変わったりすることがありますし、1度セットアップすると元に戻るのが大変ですが、QNAPの仮想環境ですと、そういう場合も簡単にリセットして、すぐに初期状態に戻せるので大変便利です。



将来の展望

今後QNAP・テックウインドに期待することはありますか？

QNAPの製品サイトを見たときに情報量が少ない気がしましたので、情報をもっと公開してほしいですね。実際に使ってみると、こんなこともできるのかと驚く機能がいくつもありますので、便利な使い方などをもっと積極的に発信していただきたいです。

今後どのように使っていきたいですか？

QNAP 製品の機能を十分に使いこなせていませんので、まずは社内でもっと活用していきたいです。WEB サーバーやVPNサーバー、監視カメラレコーダーとしても使ってみたいです。データのバックアップも QNAP のスナップショット機能 ※2 を使うと迅速な復旧ができるようになって感じています。正直、機能あり過ぎて困ってしまいます。お客様に提案するためにも色々検証していきたいです。

※2 スナップショット機能とは、ある時点でのストレージの状態を取得し、取得後に誤って重要なファイル等を消してしまった場合等に、スナップショット取得時の状態に復帰させることが可能な機能です。従来のバックアップ機能と比較して取得が容易で、復旧も迅速に行えますが、スナップショットは予め用意したストレージの領域を使用して取得するため、ストレージの使用可能な領域が少なくなります。

(取材日：2017年5月)

導入製品

TS-453A タワー型 4 ベイ

強力なクアッドコア CPU による高性能ストレージソリューション

クアッドコアプロセッサ搭載

QTS-Linux デュアルシステム

デュアル HDMI 出力

